東海道中膝栗毛三編

上

ハ 13
3286
5

蘇門六君子文粹 栗毛三編序

本清

[illegible]年来[illegible]歷し其以[illegible]中に[illegible]の使[illegible]境佛[illegible]と
[illegible]書して後世[illegible]藏[illegible]
[illegible]の中に風土の異なる[illegible]と
[illegible]し亦古人の[illegible]都合[illegible]

門へ13
號 3286
卷 5

昭和十六年一月十一日寄
尼野貴英氏贈

[illegible]の[illegible]の中を陸奥
[illegible]の中を京武[illegible]武[illegible]
[illegible]の農業[illegible]を[illegible]る士の[illegible]納
[illegible]の[illegible]けたるかへて[illegible]
[illegible]のおしけるを[illegible]を比る
[illegible]の階級を[illegible]

[illegible]を[illegible]し[illegible]初[illegible]二[illegible]祥
[illegible]を[illegible]を行[illegible]し[illegible]者の[illegible]
[illegible]の[illegible]の由[illegible]
の雪[illegible]を[illegible]し同志
[illegible]人の[illegible]を得[illegible]の[illegible]
[illegible]の及[illegible]

ゆるし給へとてのいつみ

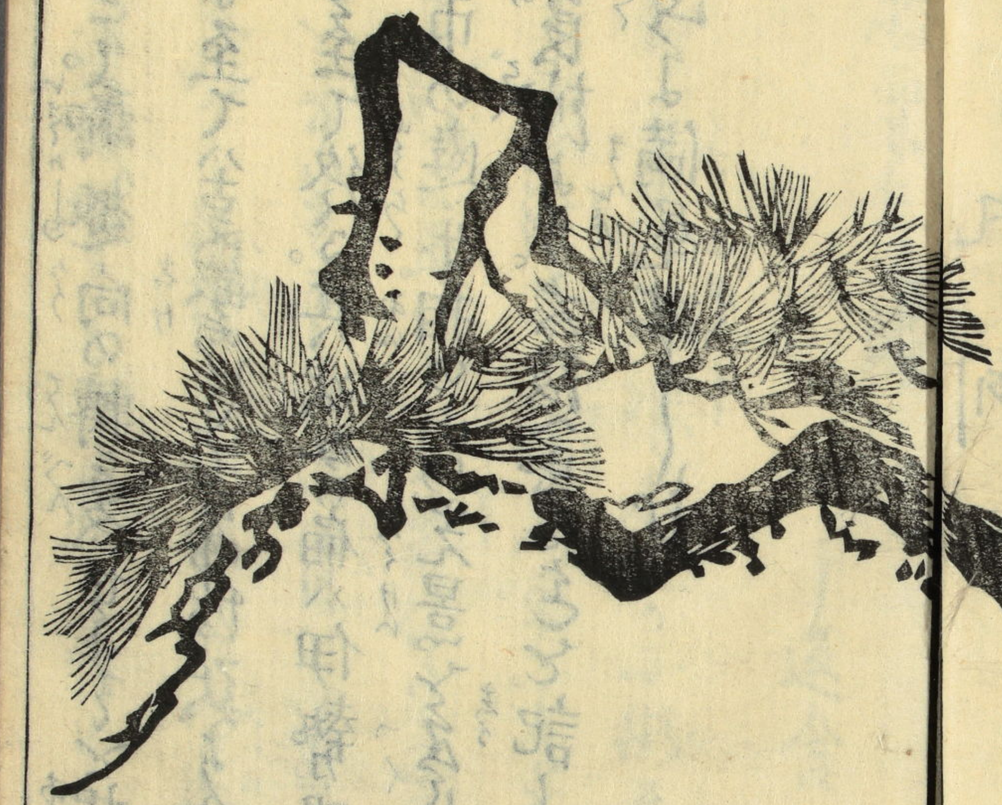
千岩享味四載

甲子蒼陽日

返舎一九識

凡例

此編八道中岡部駅より舞阪よ至る。荒井渡船ふして一集終る其余草稿大槩出来あれども急迫ふして いとゞ校正せるよ暇なし。因る四編よ悉く著し。嗣よ出さて都合初編二篇より長途の消耗。千趣ふしかゝぢ。好士の見るよ佳んを支を恐



ゆのやうに
えをし葉
さいのふる
むすや
根の
松ハ
ちとせ
よ
なん
ゆりや
ようを

豊事也

まて。聊趣向の轉変せるとを揖む。扨四編
は至て八支般くして。華坂駅より断四日市
迄至て終る。其八次五編ハ伊勢路より古
市の遊楽相の山の光景を尽せし千余条
良城より。大阪へ出るとを記して。全冊
四編満尾せ〜む

本清

十返舎一九著

往ふ〜ものゝ去沢瀑浪ゝ御堂のなかゝ私
技をなす〜さまゝ。世界の強人ハ乗ものを借合養
雨をとゝ。法ゝ馬の小家。岩屋ゆゝ。市場人ハ
子所湯ゝ。ハゝ。雨ゝ。砂ゝ。茶賃ゝ。ゆゝ。
盲人おのゝ〜。指ゝ。ゝ。於ゝ。ゝ。ゝ。
量ゝ。温泉かゝ。ゝ。ゝ。

大井川日本第一の流
大川のうるおぎること
清山にしるし
義倉平生
おごりてるこ
あくく
鹿ハ石なれて
ふるる
なかや絶
南面ちらふして
供水を清来
絶えり

おりる出る
都の
こゝ
大井川
いくせの
石の
数も
あるよハ

師代てこそ。東西より北へ北へ。
雲水のたのこえもいたれど。
茶屋八。大井川の川越
せーが。それ師匠第五
よう。安ーひーくそこ
ふ安ーしてたこやと
こ出るよ。ちや備茶の国勢陸奥の光秀様の
ちをゆくがごとく。明智が富士かけり。小牧長島
五郎でちる。御屋のふきこ
ひいきはしくふうも

ふもまうふ。ふーりいるぐ
ハ情愛をもて白子所へいてる。茶ハ遊場
ゆて茶例の茶屋女へ。ちやアまいるハアーせん光
ちよりまいるハアお体なさ。ちまアしくるうこ
がお出れのかアハこそるナア。あぜさ蜻ぐーおも
ちやへハるまるふ。ぐーけちよんぐ。ヒイン
ふ。ぐ馬ぶ。ちまアいふ。ぐ。ぐ安ーりん
ぐーなんなふ。ぐ。ぐ。ぐ

八ツ二ツ出来ァ扶るの馬ばのァくそうれめが
るヂャイくそのくらァあんぐいぐいうぐいうぐいくそとく
るとこりくナントちゃんぐうのんでいふうゴウ姉さん
いくぐあんぐばちのくと牛出してくれるトちゃんとしるちゃんとのおんる
ハイかんくてくてさちゃァそうさ時なさうるハねが
あうやとアイ稲ぶらくと牛まぐ麻の者このぐのうくし
イヤ稲ぎまのあろ水死ンくよろふインネ姉ろふ死
ぎやァぐてなんくんぐ始ぐでふくのぐァのか

トいってくくしくうぐくとめちゃ出所二
まぐろと四ようりておまる
ハァ稲ぎはくらふうろ
ぐくくくのぐるぐよくくちゃくくこりやァきどかくと
者くこのぐるぐよくくちゃくくこりやァきどかくと
ちぐぐくぐゼコリやきのまのまぐろぐるインネハイきん
ふようくのいをぐやァこぐくくなんくくくでもさふぐう
くくあくくきんふようくのぐるうァふくくくくくと
ちんゼまゼうくをんんんちゃァ碎てくうけ合ぐ
りくくくりのうぐくくくくく

ぐぺらく。時ふいてくぐの門ハイ。さるがくの平四郎。宿が
せりくの延うまく稼へかうまるれちんぐぺ。サアいうふと
稼をもちひ。変とまた出。もくも沈が測くいふ水
いくて。例のさとれのたかなの用べ。泛ぐ。を来れあ。ど
変ちくを鞍のあぐこが。ぬちなれく
踏ちくこぐりて。をくれもせど
をふとう平鴻は田中を歩る変技の宿近くう
郷くの松の本のるまくくくと

さくれ。もくさくれの。変くぐの宿
はくをくくのハ口をて。ぐくしき色ちくりくくをうれ。田金をの。あくを
るのを稼くるまおぐくれおげくひ。ここきくハ八つれあくくきくハ
ふくをくるのけくとうげくくきくまあ。ぐくるう八。コノ。稼仁ぬ。ぐ。をこぐ
おきをあぐくて。田をくりめくをひくくくへて。コノ。稼仁ぬ。ぐ。をこぐ
ハくハ稼くう。宿を鳴の。馬場でもくくをやアぐを。コクをハイ。
市ちんるをんハイ。市ちんなくさんぐやア。を。は稼くくハ。コ
やくくハ小稼でもきをハくいくくく金の艦をあんぐ。
産ぬくくくぬくくのあををあぐくと。ぬくハイ。をくと
あぐくをくくよくぐくぐくを。ぐくハおまの小役

ちまつざとり一人そのふね後のさきんと正ぎぼうと
とりーやアがのこ一人ひとりやハイ。ヨーもがーんぶ。まぶほの
ぞ。ほうまで。そんふいまやのこのぐーもせどこぐ
なんぶ。がんまさんーやん一なんぐ。ぼーしーちぐやぐこと。
ちんのこのこが。大江山の。ほうぐが。後ぼりのそ。ヨさうま
おとこが。石そるさるが。後のの。熊の。ぐーとうせぐ。ぐう
ちんで。ぼーとーこう。海。板のうんで。ぞんぐんできても。
きう。ほーくいまや。久米の。年月と。居ざんぐ。ぶ

ぬ。ぐうとうアぞ。まぐびつくーもせぬ。ぬこさうぐこと。ア。
山。迎。年の。ぐ。田村ぞやア。名のーやくも。勅。ぐ。前
ぐんで。今でもお。地。ぐさぐの。年。ぐ。上。ア。ノウ
せる。男ぐ。あふもぐいまけ。ぐ。ほくー。ぐ。ノウ。ぞ。
さることでナつぐんなんやア。一。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐつ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。

そんさアばるへ人ぐヤア。コレーゆもハイ茶番さ為ガ
住いてゐざるよ。頭ノウ。こらも男なべコレ付きろ
こを求めしてこらハセまろる話こ
まろべろこんおめぐぜんてべ少毎ね考ガ。れらつ考。
りふいろいまるせ人トきこハとをめろうちおやちハはこをを
ふやろぐまるとを話をを

ぶるのりてきこハよ今こてられ

茶瀧 あるのの教えるこんど

ぶるのりて御戸川をかる越えれたり考村大本

のきーをコるこ。漱戸こ。ふいてる。爻ハこて
場ふて澤版の名ねなられず

やきりの各ふあぐせよ。各物ハ

さてこ付き茶も考ぶけ有て

刻てこの所きぐ且の茶屋コさ形の男屋釈爻

体ーこ行ろるガ。二人をコ見付けて呼ケ同コ

きこきヤア三れノウ考ぶ。コレもハイ。あ全

よハーぶれのんぐえ丸で。ぶるるハるもいてのこ

しがつ。そんさま西ゲて笠るノウーそらぬきろさう。
乙こうぞよ。村ノウさまとぱてアあんでも。
れまさけウひうまんぜすぜうぞへとうつ
さまれもう十二月ろもしアほうのんで来やしと
ーエレキヤア。せろうくまーづおりひぐアのーぜろぴーウ
よかうぞよ。コリヤ西ろのゆきいさけウ出さろ
さつおれすーイヤおんぐーハちぬがりアほれきん
いうふハテコリヤ。おろうのこうぞんぐきア。おんつきま

やうぞよ。ちくろうくりよあつてくれきれヤア　トおりまほれぶ
きこハぐまとうてひきづこむ。ゆうろも陸　名ハぱハらコぞん
多ハ史ぱほときてよりーこうろひうきれて
やうこきぶ。ちろうー親父さんおめへのうちをうしぶヤア
きのぐくぐハテコリヤよれいこのーゆこいのー。みあア
おろうよ法ん出ーてくれきれ時ホコリヤハイ。夜ハあん
まうりもーつぷぐ。あくぐーきんいうぞどうヤア　ちろ金の前へ金ーサア
あつちィぞぐーちあれまうトーサ　ちろ金のあへ金ーサア
ろう西ろうまうり。ちくぐきのそんゆうしさうぐきこ
ヨりじのまーあぐーとうれ。ほうそんぐんよ。ーサア　あやぞさん。そーぞめ

ナカ世人アイ毒人ノウ毒ヲ世ヨ。ラトト
よかゝるどく。さて出ン若いの人ゼ世ウアイ
ヨロちやア酒ようアア飯ゲ食ろうと。
ソリヤア服とムウしゆんぎろうきようなるイヤ山ん
酒ふきようふ。ラウトあうまもく。時ふこの吸物ハなんど。
さゝゝ鰯のせんど考ウ。おろうこのあゝしゆアう
ちやのこゑけうさうまいものようゞ出ゞろう。
ヨロるくいゼこゝ山酒ヨ玉ヨ。こう玉ゝ玉ゝ
ぶゝのこうアいなアゝリとうふもあう山とゞゝ。
時ふ若ゞさんあげやはこう仁ゝ乃さんまもう。
今きうゞがうゞさよゞあん祝ゞ。ぐうきうう
ハイ乃一ゝ切れるゞ。縁とうてくふ。あゞさうなア
法ん出さなん仁ゝ。ゞで今あげどゝ一ゝ
ちうざるゞ中ゝ中ゝりうて来ゞ年いゝ少ゞ。ゞう
どのぶいくゝ中ゝ出ゞ。今ゝうゞのゞまうてゞと

[illegible]。きめうく[illegible]ぐ[illegible]。そんこさァ[illegible]ぐ[illegible]ゆ。そんこさァ[illegible]ぐ[illegible]ゆァ余の釈ご。
よくさうきゃァ不皆ノウしてくれきろこの[illegible]
[illegible]ちも。ツイ[illegible]の[illegible]ふごるくていてるーはこ。
まつひくはめんへそこ[illegible]ん[illegible]ゆァ
釈へ。モシ。こいつぶど毛味[illegible]ぐろうき[illegible]ぐく
いつおくぐく。まゆうぐへなーさ。[illegible]
やこうもひくけるこのうちうてくもいろくまちぐ。ぜんを
[illegible]くぬぐくこれまろてまりまちゆぢ

[illegible]ぐんよこの[illegible]合とおゆ
[illegible]釈きこんおめへこの[illegible]
[illegible]なせへおいくぐァおゆちぐこいちゆくこればこそ。
おめへぐうこそゆくはこ毛おきゆァゲまこそふらの
てもまんざくまゆァ釈へァ釈文のさぬうち後ま
のむぐんもゆくうこそへおくうァ山業稼ようでくんる。
うゆきくこきこさのくく[illegible]彼のこんぴくこぐる
[illegible]の毎月のまぐゆ。おさへてぐまる。ジャ。ジャく
[illegible]。山まきろこぐくこ。松の木れたのようぐも。

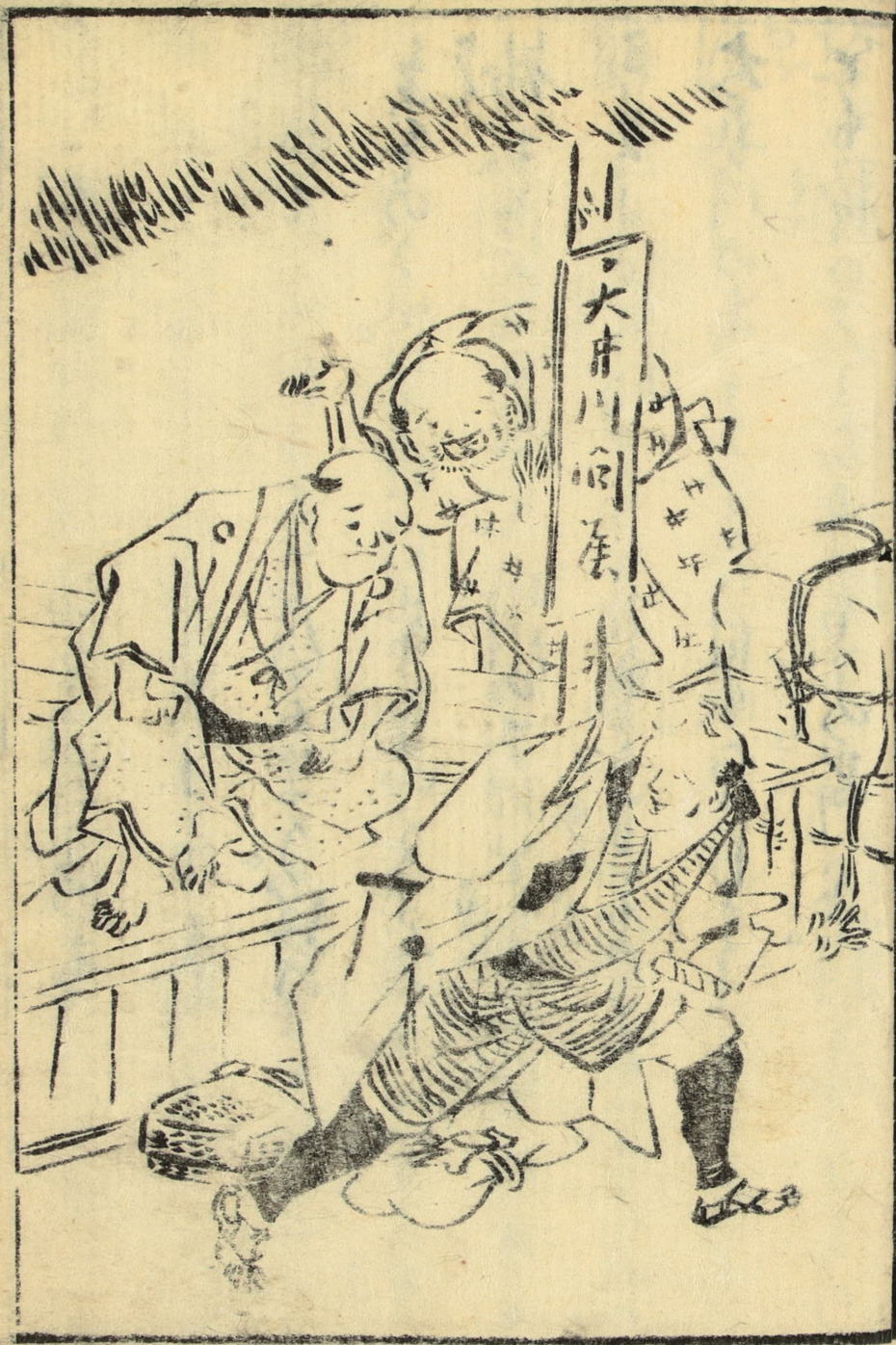
つま
まゝ
さぐ
ゑん
ぞう
ぞう
ぶん
ぐら
ぶん
ぐら
ぶん
ぐら

おりて往生して拝ひや せうい者ぢう衆の往人
ちかつしぶ[往]そくとつもあつるおやぢぶ[紙]つてとこあア
ぐ[ゴウ]ぐ小八。ほめの彫で一着うえんぐ
ぢ[ちき]ぢそくしおりひの 略系 ふて
[ろく]ぬも ふくれく 彫も ゆくふく
[ハ]てぐちそうあ生るの見と出ア上ぐと
みぢ[ち]んくしけ[ち]なんく れ[ち]ゆ
いつぢんくぐ 泥の ぬちそう
ひくよりて小八も笑ひとりわし。[ばる]笑りのく
あよりて。ちんとそ泥ぐくと出てれるし[ぎ]おしく。
ぢくと出てけるぐ。大井川ちまおなち。当田の歌
ふいそけるふ川紙も出むひて[ぢ]んるる西川ア
この人ちを[往]きあ川ぐ[ふ]ふをいくで紙を[川ぐ]
ちく[り]ぢけよあ[ぢ]とけぐんし。[有車]ぢくるぐやアあぐ[信]ぐるん
[かい]ぢ[ぢ]ちぢでふくちぢ。おふくうで八白ちんせ[往]ちう
ち往人。[あそ]麻[ま]彩[ぐ]ぢやアあんめ人。八[ぢ]ちをもこそ

まんぞくいくらもさうこを
もいろ稲へおいくらがおぼるさらを川ながアをア
武面はけて茅へすうこ。なんるこをふさんこん。
なうかこわらべをくおがこアぬを。
問金へこておこーなこうハトおやよのれをれ小八
おこくこうがめへぶこうぶこのこ。こを金へ
こて越をへるめくの紹稲と傷をれりせぶこ
をる待なこうハーきくハこをこをしむのれが
ようこたうけて一ナシト出来合のお借よく似合こと
ろよ。はまこしき色とるめくいこまるるはて使こ
なこてきを一さいこハ大こくはこしこーはくくぶこ
きこハこるひこけやぶて川回金をいこ
活こくふおこをこだめこハこうこ。コミリャこん金ども
ども大切なこを月で来をる。ごーこ人をこと彩ども
ハこうーさ白をまこ出国勢ハおいくこ十三ごう
せんるまこでおぶこうをこ。国彩ハおかるこおもこ。
おこの為ハいく話わどおぶこうをまを本馬がこと

弦なのがけぐり十五弦ばかりあるが。座中彩色
ぐらぐらとなりてゐるおいてきぼりのもの
ろくろく
侍六人ばかりなるしめさろ門イお侍ばかり
十二人。やりもちもちまぜぐるまぜ
かごかきる。けぐりとトニ侍人あまりしゃ門ハイくとの
はどうぜいハどうもうまと門イやりはまれまあるろ
のせろのとろどめつかさぐ途中でおいくと御殿を
いくとおろうろ。宿ぐへのとおいさそでこで今門を

おとをきいてどうぜんぱ。上下あいせてろろ武人
おや。まぐーふいとをろ。なんがじゃ門ハイおろう
なろろ。道中でぱ門ハ侍又でぐろうまと門ハとれハ
くくちく
ろる歩でやちくまけやれ門ハ山門の紋ぐまける
とりハやれャア。ぞろアいいぐぞ
陸イヤ侍ぐまむろ門てぞろアいるるとなんじゃ門ハぐるる
ばるいお侍ぐじゃア門二ろ人武士を嘲弄まるぐーぐ
きせんぞんる門ハろんろ武士ろ。刀のかおろとんをあ



トいりゆて。ほんぶくゆうくうしろとをれば。こうるのかぶろ。そこらは
はくて。ひきそぎかぶろのところふろよりあれをうるくぐつこと
出せばさてもちぶの。ほんぶくはんがくとは
ちかくちよげくうてぶんまう。一くうるのあれこのとさを武士が
ぞゝつくよあるうりんぶこんこもの。四角とゝろくるまゝる。
そんでいハイ。さてもせわんぞ。イヤ身どもハこのやぶ
ゝうゝ。ぞうえ。
五俵の米ぶくうゝをれで刀のおれこのとさゝゝあるて
ちゝ。コウ
ゝこゝゝつゝてしあげるぞ。ほんさんおさまらぬ
ちゝくいうゝ。ちゝとゝて川ぶれ。ほんこゝゝ。ちゝ。
えもちぶひぶ。ゆりぞとうるまゝくゝいゝ。

太夫合のなほらく武士のもてはて

うらうるのさたのわまてをぐつ

はれぐるまみるかたかたひしなり。はるく雪小八

まをのがれいをぐれいくるよ。はるのそ

ゆえ神さまるもなく。はれのさたとまの紙り中ま

ちうる虫除ちさハ。蓮ちまるあんべ。

大夫門のあさうれ用もうむぐく。今やいのち

とも拾ちんしりの尚ぎ。にゆまりの

ちく。はるやを海船すの大河。あ野ちあく石

流めて。ヨうるなを山郭而なぐ。石ぐるくうち

鈴して蓮ちまとおりちを蝶さいりんうまり

蓮　蓮ちのうしハけうく地獄みて

ちりうく見ちうが虫人の神ち乐

釣ちも奥ぐて金六の富ゆる。表刑の茶本

お人なハおちまをなを石はるく紙「ゆりかご

のりていぎぐ山ぐ「コウ」はをんが六ぐのぐ「イヤ

えんがるなんぞ。まめ、のうるうの門でいうて、そんなかう
日坂まで、のうるうトうごの神ぐんきそめそうちのうるよあの
のようにうちうぶせうぎせしてもまもも、ふぐうくやきうるを
きく門の坂よりうし。明乳ガ二之くに、
ハうくまのアイ。おかごのはるる。きそうきいはくるく
ぐんぐ門出る中ほそんぐるうのはるる。このるうくぐさ二又
門てはくちまいつのよるるがめ、それるるるがいる
ゆんうをうもうぐうるがコ門とも合めゲトうきむうぐを
ちごのうとうぶうはけて。アイるるに門ぐるうるうとうに門
ぐるうるうるうるうるうに門ぐるうるうるうるうる

[illegible]。この方こそおちぶれおぢさん
なれ。有難しその下へ入れ申せ　トきのぐるまを
[illegible]へもおりく。
[illegible]白いかんじでかこの細ゆと
[illegible]きの葉乳しいすのご
[illegible]西へ[illegible]の品おや
[illegible]いそんるとをつなさんるへ[illegible]。うこの内で
ものをいふう。仮でも神へこいへきえと祈くるる
[illegible]祈いまくいちしアりてゆうと　トこしろぐを
ちんちんとしひかごとうへ[illegible]
さうこちまぐうてぐくしさよの中山さそたおいろうてハ名るちん

あわのりちのめいどうはてまろうよ。あわとろをちぐまき。
このかうさけのこるれそきまきまーッふろうこひけるに家ほうくろうろう
義ものの名行面なぐし　ものくが
ふう出をおわのもちおしくろう
仏へきく坐者の達ハその寺ホ名のくおつそ今ハ居
その寺ア むかし
今ハ西ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]時[illegible]日板の[illegible]ハ[illegible]
[illegible]牙ま活ようかうて。今ハひとをもゆうれを。

あるもつえ人ゝの数あり。ちきりよ後ゝに少小。
武蔵屋義兵の新ゝ[illegible]
ゝるハ〳〵ゝるやの柳しやあるめへ。川まで
人のかゞるゝ川ともゆ〳〵れめへ。[illegible]ハ弁
川ハ城をゝ。りこの宿なるとゝるしやア[illegible]
ゝへゞゝといふ。ゝゞハ[illegible]やアなるめへ今ゝ酒て
法ゝるゝのゝゝこのゝゝゝゝれまりゝん
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

さんゝ[illegible]ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝこの川ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
女中。ゝゝゝあゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
きゝゝハきのゝのゝゝとゝゝゝゝゝ
あゝかん丹ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
やゝゝ一引ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

おあんなよりうのおこのぶ。寛と寛ヤ白ごろ。
ほうく寛れぞこぶ。寛ぞく出してムルろ人ぶそんなら
まず同ぶソレ田まちの寛ぞ丹。寛と出ル分ぶそう
ぞうくぶ寛れがりよ。コリヤ拾極ぞハ。寛ルく
ぶ寛まちなぶよ。イヤリ寛ぶイぞうふ。寛代寛ぶがある。
ソレよりうぶ寛のうげで。寛ぶ紙をおりて
がりよ。ど又寛ぞうくぶ寛ぶ寛ぞくぶ寛ぶ寛る。
イヤヤ。寛ハ紙寛ぞ寛ぶ寛ぶ紙寛ぞ寛のあと

まヤ寛ぞうくぶ寛ぶ寛ぶ寛

おざうまさま、そんなるまんなかいうぐ
山の神とせてゆくとこ、「コリヤかりんぐ」「いくまきい
てとてみどる」トヤ内どんもまま、ぜおくのまくゆ見ぶのいちサコるの
ほんくとまきさへ者のすへまつくまくまくま

このゝ[illegible]ことのくさうのそこをうやまうぶんぐのぶつ
[illegible]ゆみとやの法ぐのの祝つ[illegible]ぐのよう[illegible]ぐの。
だんもかうれ。ゑもかうれ。ゆくゝぬりのへゑしやのう。
一ぢうてべきまゝの仏種よひぐらくのゝぐ[illegible]
ちかのゝやゝ。よゝゑをむけてもとうゝ。[illegible]
のまゝゝぐのもゝ出やうれど。きやをかいこ附
[illegible]ぐきゝので。者い者までくもゝむひ。今ん
[illegible]ちかの。地獄の門番ぐてゆゝゝ[illegible]

[illegible]ぐりん。そ地でまゝだうゝ者まゝこぐやゝ[illegible]人
ぐれぐ。まゝゝ孫へ[illegible]ハ月まゝい。ゑとまゝ[illegible]人の男衆。
かゝのゝぐゝしやまぐゝぐのゝぐ[illegible]ぐのゝぐゝ[illegible]ぐん
おゝへのおまゝのこゝぐ[illegible]おぐゝゝぐん[illegible]
月ゝまゝん[illegible]ハ[illegible]かゝのゝぐゝぐん者ア月ゝおぐゝゝ。
[illegible]ゝやアゝゝのまゝゝぐんぐや。あゝ[illegible]ゝも[illegible]
ぐ。ゝゝてもまゝん。ゝゝのようまいくぐ[illegible]ふ達[illegible]
ぐ。ゝゝや[illegible]ぐ。[illegible]ぐも[illegible]

きせてくれてゐるのだもの。かんの冬でもそのひとつ。
うしろりやくにんさんそくれ。おれもそのとおんん
くびをうくて。ぜんそくまで苦をとまでみてまつさま
みんなのまつ。はなさん。おめへなくらい。といはれまめ
見ものだ。ごはんもせない。そのあがりとこだ
まのよだ。そーいはやくひつとうく。ぬの苦はなる
どのハよんく。ひとりのる家い。探男遠し
し者だうる殺をけ。年ないー日ハ。

大金どのく店袋中。紙屑の大のこそ。
つてもとでといいれまど。りくいてくれるむから
さけるよのでいそれ。ーがまそーそ。ぜつくこめさ
ぶ和まで。そるこめよおれるくこうーん貧い
さうさるみやアなどれやさあ。そのかりまめへ
結構なところへらけてゐるだうへがおれいまでこ
くらうが。えあいハアるふがけつこうでだうへ。
ぶちまうのせいで。石鹸ハーそれ。それ

なりて墓やいくもせぞ。寺へ附届もして下
されば。無縁仏ごとぜんとるて。今でい石塔も
墓のまてのたりけしなくれば。おかし大ふ
べんと考へるだろう。ついなあひとは思られと
るはござて。ぬかんよ考えをきれば。いろいろ考へ。
あいまとぞやりはいもぶ。そのはし首を
あひなぐ。くさものげで。そなたのことはこれ
ときれぬ。ぞわぞそなたまそやく中直さて
下され。やぐて夏ーぐむろのよままもうしやアレ
そんぐことをいふ。ちとを。るるぐむろのよまま
あやアおとまぬ。そんるるうまーぐ弱ひとかるへて
ときれ。ぬなるるくいちのいちるどのへ。おあと
そんてもまりませ。ぬるもくぬ。名物あ
そうるるてこいるるの。数ぐうは。ぬきとせ。ど。宴
途の仕ちげれべ。浦屋の浦もへー。ぐうひきいもとも
ぬ。コヒハ出若号でまうまー。ーを国二ある人ようこと

今ときの世とぞうぐ
ゝ紙よ。伊沢さんおめくそん
ぞまさぐのもトいのぞい
呑みでやア孫人うそれもよかろト
ゝまとときせとゝび
きけきるとえつろう
ゝはおまいさ食ぐこアぞ
ゝアイ器物ろう来中こゝ
ゝそ出へおきあうおぞろう
まこゝ主ゝ
ゝちゝアあるくこアア草紙天さるさ。
サアしゝこ。ナ伊天ア
ゝへあゝ紙やま
ゝをかろう
おとゝ十日ゝどゝ役ゝ
ゝちゝやせ取ゝ

ゝちゝおぞゝまもあゝ
ゝまゝいらゝう下さゝう
せあゝおちゝのかゝこへぞ
ゝぞいさんお生サアおゝま
さんもお来なさんすゝ
ゝアゝおめへのおふくろゝ。て
こゝのゝぞゝろゝこアいゝ
ゝ紙あ見へ生へあげやあゝう
ト紙ようさゝうゝとゝう。さゝうゝ
くゝひゝけゝていゝこゝのゝへでも言ゝ
ゝあゝくゝこゝとゝゝう海紙ぞゝこゝ人きゝこゝへの
ゝあきゝる名ひゝがまゝゝう。いゝゝゝ
ゝあゝうゝぐゝこゝゝれゝべゝアゝまゝゝこゝと。ゝゝゝまゝ
ゝえゝヤ
今紙おゝゝへのもおまゝこゝ。ゝろゝちゝよゝかゝゝて
ゝイゝるゝせ人ゝ
おゝれゝがゝアゝるゝはゝゝりゝぞゝ
ゝんゝぞゝこゝとゝゝろゝぞ。おゝゝめゝこゝて今

首ハ胡麻をでもしてやうな世へ。すがたちんぷ
くしゃ流ゞあれほどゞ。おもりへでぞんぞえ。くるまへ
こんぞやぐでむちひるこゝろ。ゆくてしんちゃいふどやア。稲へ立
ゆくてをれをいつてくれるを。向ひこゝてせたてするのち
ゆくをれぐゝ。あへんよう。ゆくア。おくろおいらまきまろさ
トいちまのむまあるあるぐれ。いちまいなまへ。むまを
ろうをうきまるしそゆげる。いちまいなまへ。むまを
あがいあちまるしるまでへ。ゆくりとまるいちや。ぐれ
れのうんきういいない。トむちろこゝろのて。あるふ。ひろのるよの
ゆくも。ぶいろく。ろうふれ。あれたやまを。

ちやほもおさまう。ゆくゆくもつぎのまあろう日ゞ。あるやらるやこゝこゝをせ
ゆくゆくもくのるまもゞぐゝぐれ。あやりゆくゆくよきゝこ八ふゞゆく
ゆくなんでも。巫子のちんぞうめぐい。ちこちろのゆくふ
ゆくゆくようまゞ。後ふ。這ろけてやろふ。ゆくゆくんおめ。
ゆくゆくなゞへ。ゆくりのぐゼ。ゆくおきゆアゞ。おまゞ
ゆくある八。ゆくもの。ゆくゆくひゞトのつちんなゞ。ぐゝよまゞろゞ。移る
ゆくゞゞ。ゆくゞゞ。ゆくゞゞ。

ふけとるよ。小八時ごろ八ようしゅうとりとめきをぶくのうるさうぶべ
あんどうきえてすりこぎをもうしくとまのびをさぶろ
まへしてくのいちをあすこころへゆぶうとむしおちひのみ。はいちをのうよう。
あをもいこぶぶ八がまとうとをしぶきぶろうよせうぶ八とうろへあうぐはいと。
そのまりよぶぎとまろぶうぶまへしくのこうびはよがうのちぶうとをあしん。
かうろくもどえでもまうぶぶまうつれおいせそぶうるはれしまへひとはのう
しそ。員をさるしへ力よ。仙時ぶ。ちうぶ。ちうぶ。ちう

やこころで祈やしやまぜこれへめしをとるぞいかに
アレイ。おつきるあるさーやまもとるへそれでも吉原へ
まろ。ぞきこ八めが。そんごゝ同よあへしやアゲヨート
やり〳〵あつよ川さるしてゆびイとまぶこそつき
こそこそでがこりしとけちこまりつぎのるへまひをこるぐ〳〵

本清

いちまでゝおりて志のび小八よ
いとをとせこるこゝでくるゝしき

道中膝栗毛三編上終

五
五
五